

持続可能な地域社会の形成と ダイバーシティ

持続可能な地域社会をつくるためには、一人ひとりの“ちがい”を課題ではなく、地域の力として活かす視点が求められています。

ちがいに配慮のある取組を通して「誰も排除されない」地域や組織をめざすダイバーシティ社会の形成について、実践事例や理論を学びます。

「何から取り組めばいいかわからない」

「自分の業務にどう関係するの？」

そんな疑問を持つ方にこそ、ご参加いただきたい研修です。

これからの地域づくりに必要な考え方を、一緒に考えてみませんか。

研修の ポイント

- ダイバーシティについての基本的な考え方を理解する。
- 事例を通じて、市民向け、内部職員向けにダイバーシティの考え方を浸透していくためのポイントを知る。
- 各自治体及び組織の課題を認識し、どのように自治体施策にダイバーシティの視点を取り入れるのか、演習を通じて具体的な方法を学ぶ。

開催要領

日 程

令和8年7月22日(水)～7月24日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 総務、人事、総合政策、男女共同参画、人権、福祉、国際室等に在籍する職員
- 市民・職員向けにダイバーシティの考え方を取り入れる施策を企画する職員
- ダイバーシティの考え方を庁内及び地域に啓発する職員等

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますので留意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

15,350円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料代等を含みます。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年6月9日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和8年

7月
22日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:40

講義 持続可能な地域社会の形成とダイバーシティ

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 **田村 太郎 氏**

企業のCSRや自治体施策を通じた多様性配慮の取組をサポートされている田村氏から、ダイバーシティ推進の必要性やこれからの自治体に求められる施策についてお話しいただきます。

14:50~16:00

講義 組織と社会のダイバーシティ推進

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員 主席研究員

女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室長 **矢島 洋子 氏**

多様な人材が活躍できるための組織と社会のダイバーシティ推進について、具体的なデータと事例を挙げながらお話しいただきます。自治体や地域でどのように活かせるのか、実践のヒントを分かりやすく解説します。

16:10~17:20

情報共有 持ち寄り事例の共有

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 **田村 太郎 氏**

グループ討議を行うにあたり、メンバー同士の自己紹介を行うとともに、事前課題をもとにメンバーそれぞれの自治体や所属団体におけるダイバーシティに関する取組状況を全体で共有します。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介① 外国人住民との関わりから考えるダイバーシティと共生社会

前大阪市港区長 **山口 照美 氏**

外国人が日本で生活する中では、文化や生活習慣の違いから、周辺住民との関係づくりに課題が生じることがあります。この時間は、外国人住民の多い大阪市浪速区で小学校長を務め、その後大阪市生野区で区長をされたご経験等を踏まえ、日々の関わりや災害・緊急時の対応等についてご紹介いただきます。

10:50~12:00

事例紹介② 自治体におけるダイバーシティ推進

豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 課長 **原田 紀代美 氏**

兵庫県豊岡市においては、まち全体でジェンダーギャップの解消に向けた取組を進めるため、「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」を策定されました。「固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている」ことを目指した取組について、ご紹介いただきます。

13:00~14:10

事例紹介③ 企業事例から学ぶ多様性を活かす組織づくり

株式会社美交工業 副社長 **福田 久美子 氏**

株式会社美交工業は、知的障がい者やホームレスなどを積極的に雇用し、それぞれの特性や生活状況に配慮した指導や相談体制の整備に取り組んでいます。この時間では、同社の実践を通して、多様な人材が安心して働き、力を発揮できる職場づくりをどのように進めているのかをご紹介いただきます。

14:25~17:00

演習 グループ討議

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 **田村 太郎 氏**

講義や事例紹介、前日の情報共有の内容を踏まえ、ダイバーシティ社会の形成に向け、各地域や所属団体における課題を抽出し、その対応策についてグループで議論します。

9:25~12:00

演習 演習発表・講評

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 **田村 太郎 氏**

グループ討議で議論した内容を発表し、講師からアドバイスをいただきます。

13:00~14:10

まとめとふりかえり

一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 **田村 太郎 氏**

研修で学んだことを地域での取組への足掛かりとするために、研修全体のふりかえりを行います。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和8年

7月
23日(木)

令和8年

7月
24日(金)

※全日程を通して、一般財団法人 ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏にご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。